

高濃度ビタミンC点滴

(1) ビタミンCについて

ビタミンCは体の働きを調整し、感染に対して免疫力を高めるために重要な栄養素の一つです。1932年にアスコルビン酸として発見されわけですが、さかのぼると、15世紀の大航海時代に、長い航海で、血を流して次々と亡くなっていく船員がいて、これを壊血病と名づけられました。その時に、レモンなどの果物を摂取した人たちは、見事に回復することが発見され、果物の成分の中には血管を守る成分があるのではと考えられました。その後研究が進み、ビタミンCの作用機序が判明し、血管内でのコラーゲン合成ができないことから血管がもろくなり出血傾向となり壊血病になることが判明しました。またその他には、抗酸化物質として体内で働いていることがわかっております。

我々は、体内でビタミンCを作ることはできませんので、身体が必要である量を自ら摂取する必要があります。

ビタミンCの作用は、以下のように多岐にわたります。

- ・メラニン生成を抑制（シミの予防、改善）
- ・皮膚や細胞のコラーゲン合成を促進する（美白、肌の弾力を維持）
- ・免疫力を上げる

- ・疲労回復、抗ストレス効果（健康増進効果）
- ・アレルギーを抑える
- ・天然の抗がん剤として作用する
- ・がん関連遺伝子の発現を改善する
- ・活性酸素を抑える（抗酸化作用） などがあげられます。

(2) ビタミン C 治療とは

ビタミン C 治療は、Linus Carl Pauling 博士（1901-1994 年、ノーベル化学賞、ノーベル平和賞）が、風邪を含めた感染症に有効であると提唱した治療法であります。1970 年には癌にも有効であると報告した途端、反対意見があまりにも多く、数 10 年にわたり治療として活躍の場を失っていた経緯もあります。

その後は、リオダン（1932-2005 年）が研究を続けることで、高濃度ビタミン C 点滴療法のプロトコルを確立されました。2005 年には高濃度のビタミン C は正常な細胞を傷つけることなく、癌細胞だけを選択的にやっつけるといった内容で発表されました（Chen et al. PNAS September 20,2005.102(38) 13604-13609）。

当院の高濃度ビタミン C 点滴療法は、米国のリオダンプロトコルと、点滴療法研究会の指針に基づいて行っております。

(3) ビタミンCの必要量

それでは、ビタミンCはどのくらい必要なのでしょうか。

厚生労働省の推奨するビタミンCの一日の摂取量は、0.1g/日といわれています。これは、一日あたりに10mg程度摂取していれば欠乏症（壊血病）は発症しないとわれ、心臓血管系の疾病予防効果や有効な抗酸化作用は、血漿ビタミンC濃度が $50\mu\text{mol/L}$ 程度（摂取量に換算すると、85mg/日）であれば期待できることが疫学研究、および試験管内での研究から推奨量換算係数かけた数字といわれています。

また上記の心臓血管以外の臓器にもそれぞれ、最適な濃度があり、例えば、血液中を1としたときに、脳はビタミンCが20倍、白血球は80倍、副腎は150倍必要になります。

血管がやぶれないような最低限の量は上記に示すような少ない量で補えますが、それ以上の効果を求める場合（美肌、疲労感軽減、免疫を上げるなど）は、それ相応の量が必要ながわかって頂けると思います。

つまり、

壊血病を防ぐ、コラーゲンを作るには一日に0.1g/日

感染を防ぎ、免疫力をあげるには、一日に1—10g/日

副腎疲労には一日約 50g/日、

癌の治療には、75g/日 必要といわれています。

このように目的によって投与量を使い分ける必要があります。

(4) 当クリニックでのビタミンC点滴について

当クリニックでは、医師が個人輸入しております。国産のビタミンC製剤は防腐剤が添加されているものがありますが、当クリニックでは、アイルランドで製造されたMylan社製のビタミンC製剤を新鮮な最高品質の状態です工場から保冷コンテナで空輸しております。

アメリカやカナダで実施している高濃度ビタミンC点滴療法の臨床試験に唯一採用された製剤になります。日本の点滴療法研究会の推奨する製品でもあり、多くの患者さんへの使用実績があり安全性は確認されています。

(5) 当クリニックでのビタミンC点滴の方法

まず点滴が可能かどうかを確認するため、採血（腎機能が悪くないか、G6PD欠損していないかどうか確認するため）は必ずして頂きます。妊娠している方、授乳中の方、栄養状態が極端に悪い方は高濃度ビタミンC点滴はできません。

G6PD欠損症の方は高濃度ビタミンCを投与すると溶血するため投与できま

せん。

高濃度ビタミンC点滴は上記理由のため一度、医師が対面で説明し検査を行わせて頂き、投与可能と判断した場合に点滴を準備する段取りとなります。

(6) アンチエイジング 高濃度ビタミンC点滴

注射用水（蒸留水） 300ml

Mylan 社製 ビタミンC（12.5g / 25g / 50g）を投与します。

点滴時間は、

12.5g に 約 20 分

25g に 約 45 分

50g に 約 90 分

かかります。また 25g 以上のビタミンC点滴をすると点滴中に喉が渇きます。

十分の水分をおとりください。

（50g 点滴を行うと、約 1L の水分が欲しくなります。トイレも頻回に行くこと
になります）

料金は、

・高濃度ビタミン C 点滴 12.5 g 8500 円

・高濃度ビタミン C 点滴 25 g 12500 円

・高濃度ビタミン C 点滴 50 g 19800 円

G6PD 検査 5500 円

となります。何かご不明な点がございましたらお気軽にお尋ねください。

(7) 投与する頻度、効果の実感について

効果は個人差がございますので、上記に示した効果を保証するものではありません。またビタミン C 点滴の効果は長くても 1 週間程度になります。そのため効果を実感し続けたいなら定期的に施術を受けることが必要です。美容目的の場合は、最初の 1 か月は、1 週間に 1 度、それ以降は、1 か月に 1 度の頻度で施術を受けるとよいといわれています。

効果の目安は、疲労感に関しては即効性がある方が多く、美容目的の施術の場合は、早くて 2～4 週間で効果を実感する方が多いですが、個人差はあります。

(8) 副作用について

点滴を行うため、針をさした部位が痛くなったり、赤くはれることもあります。

また点滴特有の血管痛が起こることもあります。我慢できなほどの痛みがある時は、遠慮せず、スタッフに声をかけるようにしましょう。点滴の落下スピードを落とすことで改善する場合はほとんどです。

高濃度ビタミンC点滴には利尿作用があるため、トイレに行く頻度がふえ、のどが渇く症状もでます。水分をしっかりとるようにしましょう。

その他、低カリウム血症や、筋肉のけいれん、急激に血糖値がさがるためめまいや、ふらつきを感じる場合があります。高濃度ビタミンC点滴は空腹のときには行わないように注意ください。 施術した後は、激しい運動や長い入浴、激しい運動などは控えるようにしましょう。

高濃度ビタミンC点滴は、保険診療ではなく、自費診療となります。治療、検査、処方すべてが自費診療となります。治療内容や、費用などの説明を受け、十分に納得されましたら同意書にサインを頂きます。

高濃度ビタミン C 点滴に関する同意書

高濃度ビタミン C 点滴療法に関する説明書をお読み頂いた方の投与とさせていただきます。下記の内容について十分に理解と納得をされたうえで、施術をお受けください。

私は、 年 月 日より実施される における診療について 高濃度ビタミン C 点滴療法説明書 に基づき、医師から十分な説明を受け、よく理解し納得いたしましたので、診療を受けることに 同意いたします。
また診療実施中に緊急処置の必要が生じた場合、適切な処置を受けることも 承諾同意いたします。その費用も負担することを承諾同意いたします。検査についても、上記同様に承諾同意いたします。

年 月 日

署名 _____

住 所

電 話

注：提供された同意書は、診療前にいつでも撤回できますのでお申し出下さい。そのような場合でも当院において不利益を受けることは一切ありません。

年 月 日

私は上記の説明書に基づき、患者様に対する診療についてご説明いたしました。

説明医師署名 _____